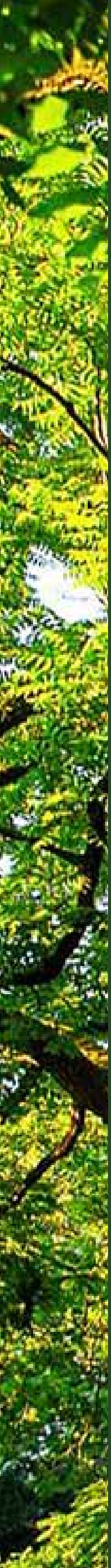


地球上の生命を維持し、再生させる

共生の森

聖公会全体で地球の生命を再生させる

共生の森は、聖公会の州や教区、各教会が被造物を守るために行う森林保護、育樹、生態系の回復といった地域活動からなる世界的な取り組みです。

種や苗を植えることは希望を持つことである

私たちは、新型コロナウイルスの大流行や気候変動、紛争、食糧危機など、さまざまな世界的危機に直面しています。誰もが苦しんでいる今、私たちは希望の象徴と、希望を実現するためのアクションを必要としています。

共生の森は、希望の象徴であり、これを実現する行動です – これはランベス会議後、神の世界のために神の教会として、私たちが力を合わせて実行できることなのです。

共生の森は、世界的な組織である私たちの豊かな多様性を反映し、聖公会各地で様々な形で展開されるでしょう。貴重な自然環境を保護する、荒廃した環境を再生する、あるいは植林するなど、それぞれの方法でこのワクワクするような取り組みに参加していただきたいと願っています。これらの活動はすべて、次の理由から、霊的な行為でもあるのです：

- 種や苗を植えることは希望を持つことである
- 守ることは愛することである
- 再生することは癒すことである – すべての被造物における神の和解の業を共有すること

イエス自身、福音書の物語の中でしばしば野外に登場します。イエスの宣教の重要な場面は、山の斜面やガリラヤの海、荒野、ヨルダン川のほとりでした。死の前夜、イエスはゲッセマネの園のオリーブの木々の中で父なる神に祈り、安らぎを見いだされました。

希望と愛と癒しのために、ぜひこの活動にご参加ください。

ジャスティン・ウェルビー = カンタベリー大主教

共生の森へようこそ

共生の森は、世界中の森林やその他の生物の生息地保護と回復に協力する、英国国教会の取り組みです。これは、聖公会の宣教の指標の5つ目「被造物の本来の姿を守り、地球上の生命を維持・再生するため努力すること」を反映するものです。

共生の森は、環境の危機に立ち向かうための実践的、精神的、象徴的な対応であり、人類と神の被造物すべての幸福を願うキリスト教の活動です。

気候変動や生物多様性の損失、人類の深い苦しみ、拡大する不平等に直面し、私たちは緊急に、そして大きな志を持って行動する必要があるのです。

森林は、気候の安定や洪水対策、炭素の吸収、生物多様性の維持に役立ち、世界中のコミュニティに食糧と生計手段をもたらします。

共生の森の取り組みに、皆さんもぜひご参加ください。共に学び合い、すでに進められている取り組みから刺激を受け、環境の保護、修復、再生のため教会が役立てるよう準備することができます。

この取り組みが教会の精神的・典礼的営みの中に織り込まれ、人々が信仰と被造物への配慮を結びつけることができるようになることをビジョンとして掲げています。

第15回ランベス会議が残した功績

2022年ランベス会議において、ランベス宮殿で発足した共生の森は、第15回ランベス会議の功績の一つとして構想されており、聖公会の宣教の指標5つ目への我々の公約を具体化する、永続的なものです。

全主教とその配偶者は、この共同体全体の取り組みに参加し、世界中の教区や地域社会とこの取り組みを共有することが奨励されています。

共生の森は、2022年会議のテーマ、「神の世界のための神の教会 – 共に歩み、耳を傾け、証しをする」を共有し、永続的に体現することを目指します。

共生の森を育む

希望の実現に向けた国際的アクションに参加しよう

共生の森では、さまざまな被造物の保護活動に参加することができます。あなたが世界中のどこにいても、被造物の保護活動を始め、あるいは既存の活動を発展させることが期待されています。

これらのプロジェクトでは、世界規模の仮想の「森」を形成します。やがてこれらは、共生の森ウェブサイト上で共有され、可視化されるようになります。

森づくり活動は、地理的、文化的および環境的に適切であるよう、各地域（州、教区および個々の小教区）で内容を決定することができます。

従って、「森」は共同体の地域によって非常に異なって見えることになります。樹木に関して焦点を当てることもあれば、草原や湿地、海岸の生息地に焦点を当てることもあるでしょう。

「世界は今、決断のときを迎えています。地球温暖化が進み、地球上の生命を守り繋ぐ生物多様性は失われつつあり、何百万人もの人々が不安定な経済に直面する危険性が高まっています。これらの課題は相互に関連しており、森林はこの3つの課題に対し重要な、自然を基盤とした解決策を提供します。森林は唯一の解決策ではありませんが、森林なくして成功はあり得ません。」

森林再生に投資するためのトリリオン・ツリー・ガイド

主教ができること

主教ができること

教会の使命や営み、証の不可欠な部分である被造物保護を確立するために、主教は重要な役割を担っています。主教であるあなたは、

- 「自分の教区で共生の森の取り組みを推進する」
- という選択をすることもできるのです。これには、誕生日や結婚、出産、洗礼式、堅信式など、行事や礼拝を祝うために木を育てることも含められます。例えば、堅信候補者に苗木を渡し、彼らの霊的成長の象徴として植え、管理させることもできます。
- 森林やその他の生態系の保護と回復のために、あなたの声と影響力を使う。
- 教区や地域が安価な苗木を供給できるように、適切な土着の苗木を育てるための土地を確保する。
- 若者と関わりを持つ。彼らは、気候変動への不安から深刻な影響を受け、すでに行動を起こしていることが多いです。彼らを励まし、その声を増幅させ、共生の森の活動に参加してもらい、彼らの環境保護活動と信仰を結びつける手助けをしましょう。
- この取り組みと被造物の保護を促進するための特別な期間として、創造の季節を利用する。

教会ができること

世界規模の聖公会として共に行動することで、私たちは地球を守るための国際的対応に大きな影響を与えることができます。

生物の生息地や生物多様性の保護、人々が享受する食物や緑地の提供、土壌や海岸の侵食に対する備え、炭素隔離、環境破壊の抑制、都市部における汚染の軽減、平和構築への貢献など、あらゆる行動をとることが可能です。

プロジェクトは今までにない新しいものである必要はなく、環境に有益な活動を継続するか、新たに追加することができます。

以下のようなプロジェクトを選ぶこともできます：

- **保護：** 森林破壊を食い止め、他の生物の生息地の破壊を防ぐために行動します。
- **復元：** 荒廃した土地や環境を復元します。
- **創造：** 教会の土地で森林活動を始めたり、より広い地域でプロジェクトを支援します。
- **育む：** 保護と復元は、新しいものを構築するよりも前に考えるべきです。何か新しいことを始める場合、単にその苗を植えるだけではなく、育てることに重点を置くべきです。つまり、適切な場所に適切な種類の木を育てるべきなのです。
- **増やす：** 他の人も参加できるようにします。植林に広く参加できるように、樹木や植物の苗床を作り、この活動の「乗数」になりましょう。

「気候変動や環境汚染、生物多様性の損失に関し、私たちの大多数はその経験から無力であると感じ、今世界が進んでいる先を見て、手を挙げてしまうのです。確かに深刻な問題なのですが、あまりに複雑で、あまりに大きく、圧倒されてしまうのです。私たちにはどうすることもできないのだ、と。このような反応は、真実でないだけでなく、根本的に無責任と言えます。地球上のすべての生命の未来に、変化をもたらすことができる時代に生きていることは、きわめて幸運なことだと知ってください。あなたは無力ではありません。あなたのすべての行動には意味があり、あなたは人類史上最大の偉業の一部なのです」

クリスティアナ・フィゲレス「The Future we Choose」

生か死を選択する時である。

（申命記30:19）

共生の森 – 聖書的考察

御使はまた、水晶のように輝いているいのちの水の川をわたしに見せてくれた。この川は、神と小羊との御座から出て、都の大通りの中央を流れている。川の両側にはいのちの木があって、十二種の実を結び、その実は毎月みのる。

そしてその木の葉は諸国民をいやす。
ヨハネの目次録22：1〜2

現在進行中の新型コロナウイルスの大流行と、その悲惨な結果に直面し、気候変動や生物多様性の喪失、環境汚染という3つの環境危機の中にあり、世界中で暴力や紛争が絶えない中、黙示録のこの言葉は、神の救いの目的を優しく思い出させてくれるものです。神の御心は「諸国民をいやす」ためにあるのです。

黙示録の中で、いのちの水が流れる清らかな川の両岸に、いのちの木が立っている様子が描写されています。木は食物を供給し、その葉は癒しをもたらします。それは、豊かさと回復と生命の光景です。

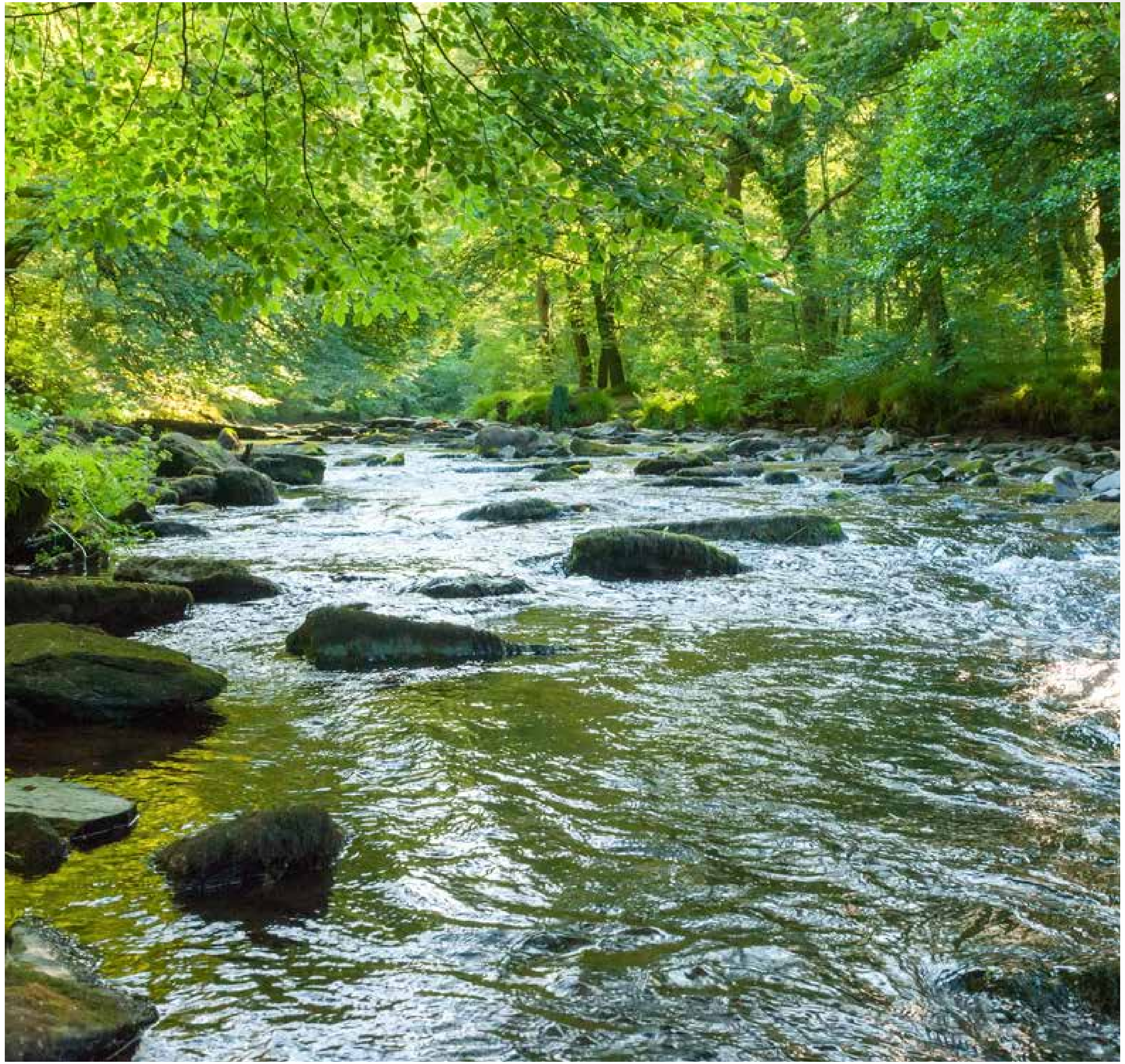
聖書の物語は、人間が「耕し、守る」（創世記2:15）べき木の園から始まり、この木の並ぶ川の描写で終わります。黙示録の楽園への復帰は、元の天地創造の複製ではなく、単なる節目でもないという点が重要です。その代わりに、聖なる園に全く新しい要素が取り入れられました。園の真ん中に、復元された、輝かしい聖なる都が置かれたのです。これは、人類の文明と都市システムの変革の可能性を示す、力強いメッセージです。

聖書では、人々が神と出会う場面でしばしば木が登場します。アブラハムはマムレの樫の木で天使をもてなしました。モーセは燃える草木のそばで靴を脱いで立っていました。エリヤは絶望の淵でほうきの木の下に座り、癒しを得ました。ナサニエルはイチジクの木の下から新しい生き方へと導かれ、ザアカイはイエスが通り過ぎるのを見るために必死でいちじく桑の木に登ったのです。

イエスもまた、木と深い関わりを持っていました。生まれたばかりの赤ちゃんだった時に寝かされていた飼い葉桶から、大工としての仕事、そして亡くなった十字架まで、木は彼の人生を形作ってきたのです。イエスは自然の中に安らぎを見出し、そこで父なる神と交わり、最後の晩をオリーブ山のゲッセマネの園で過ごされたのです。

自然の中では、創造主とのつながりを感じることができると言います。森の中を歩くと、体や心、魂によい影響を与えることが分かっています。自然の中に身を置くと、周囲から聞こえる創造の歌に自分も加われるような気がしてくる人も多いでしょう。「息のあるものはみな、主をほめたたえよ」。(詩編150.6)

しかし、世界の森林やその他の植物群落は、それに依存する多様な生物種や人類自身とともに脅威にさらされています。私たちは今、気候変動と生態系の危機に瀕しています。人類の未来、そして私たちの共通の家である地球の未来について決断の時を迎えているのです。



環境危機への対応

環境危機への対応

被造物の完全性が脅かされ、崩壊の危機にさらされています。地球の生命システムは、気候変動、生物多様性の喪失、環境汚染という3つの環境危機から深刻な影響を受けています。

「人類は自然との闘いを繰り広げていますが、これは愚かで自滅的な行為です。私たちのこの無謀な行為が招いた結果は、人間の苦しみや膨大な経済的損失、地球上の生命の加速度的な崩壊という形ですでに表れています。」[1]
国連事務総長 アントニオ・グテーレス

環境危機は、世界中の何百万もの人々や動植物の種にとって、存亡の脅威となっています。干ばつや海面上昇のような緩やかに進行する災害と、大洪水や山火事のような急激に進行する災害は、命を奪い、生息地や愛着のある家を破壊し、生活を荒廃させ、食料不足を招き、移住を強いられ、コミュニティを乱し、家族をバラバラにしてしまうのです。この危機の影響は、経済的にも、トラウマを生むという点でも、特に若い人たちにとって大きな損失となります。

1 国連環境計画総合報告書「Making Peace with Nature～自然との仲直り」は、国連事務総長のこの厳しい言葉で始まります。

聖公会5つ目の宣教の指標を実践する

聖公会は長い間、宣教について包括的な理解を行ってきました。それはつまり、被造物の保護を真剣に考えることだけでなく、宣教とは、世界における神の継続的な愛の物語を、私たちが共有するための主たる方法の一つであるとみなすものです。

このことは、聖公会の第5の宣教の指標に最も明確に表現されています。**被造物の本来の姿を守り、地球上の生命を維持・再生するため努力すること。**

共生の森は、以下を行うための実践的な方法です：

- 被造物の本来の姿を守り、地球上の生命を維持・再生する。
- 生物多様性を維持し、生息地を提供し、生態系を保護し、大気中の二酸化炭素を除去するために、植林に協力する。
- 地球上のすべての生命が相互に関わり合い、依存し合っていることを認識する。

森林の保護と再生は、環境危機に対応するために必要な、多くの重要な行動の一つに過ぎません。共生の森が、より広範な環境への関心と行動への入り口として機能し、世界中の聖公会が被造物の保護を、神に仕える道の中核部分とするよう、情報を与えインスパイアすることが期待されています。

共生の森はまた、以下を象徴するものでもあります：

- 私たちの共通の家である被造物に対する愛と関心
- 私たちがキリストに仕える道
- 聖公会の宣教の指標への私たちのコミットメント
- 気候変動への対応、生物多様性の保全、環境汚染の軽減など、私たちの幅広い取り組み。

このように、共生の森は私たちが共有する価値観を具現化し、インスピレーションの源となるものです。

これはまた、キリスト教の希望を示す行為でもあります。現在進行中の新型コロナウイルスの大流行や環境危機に際し、共生の森を創ることは、より良い未来を共に創造するための選択なのです。

「気候変動への対応において、植林ほど重要で、緊急性が高く、シンプルなアクションはないでしょう。この古代から続く炭素吸収技術は、高度な技術を必要とせず、100%安全で、非常に安価です。それは文字通り、気候変動へのプロセスを逆行させるものです。木は（他のすべてのバイオマスも）成長するにつれて、空気中の二酸化炭素を吸収し、酸素を放出し、炭素を本来の場所である土壌に戻します。さらに、木は都市に緑地を提供し、気温を下げ、食料を生産し、農村や郊外の帯水層を安定させることができるのです。

The Future We Choose、クリスティアナ・フィゲレス、トム・リベット＝カーナック、p133。

国連の持続可能な開発目標への貢献

何百万人ものキリスト教徒を有し、165カ国に広がる聖公会は、国連が設定した「持続可能な開発目標 (SDGs)」の支援において重要な役割を担っています。私たちの行動の一つひとつが積み重なっていくのです。

共生の森の取り組みを始めることで、「持続可能な開発目標」のSDG1:貧困をなくそう SDG2:飢餓をゼロに SDG3:全ての人に健康を SDG6:安全な水 SDG11:住み続けられるまちづくりを SDG13:気候変動に具体的な対策を SDG15:陸の豊かさも守ろう SDG17:パートナーシップで目標を達成しよう、に貢献することができます。

各種サポートとリソース

共生の森コミュニティに参加しましょう

最初の1年間は、教区への支援やパートナーとの技術的支援、教区のための資金調達、進捗状況の確認、体験談や経験の共有を含むコミュニケーションの促進のために、協力者が臨時で雇用される予定です。

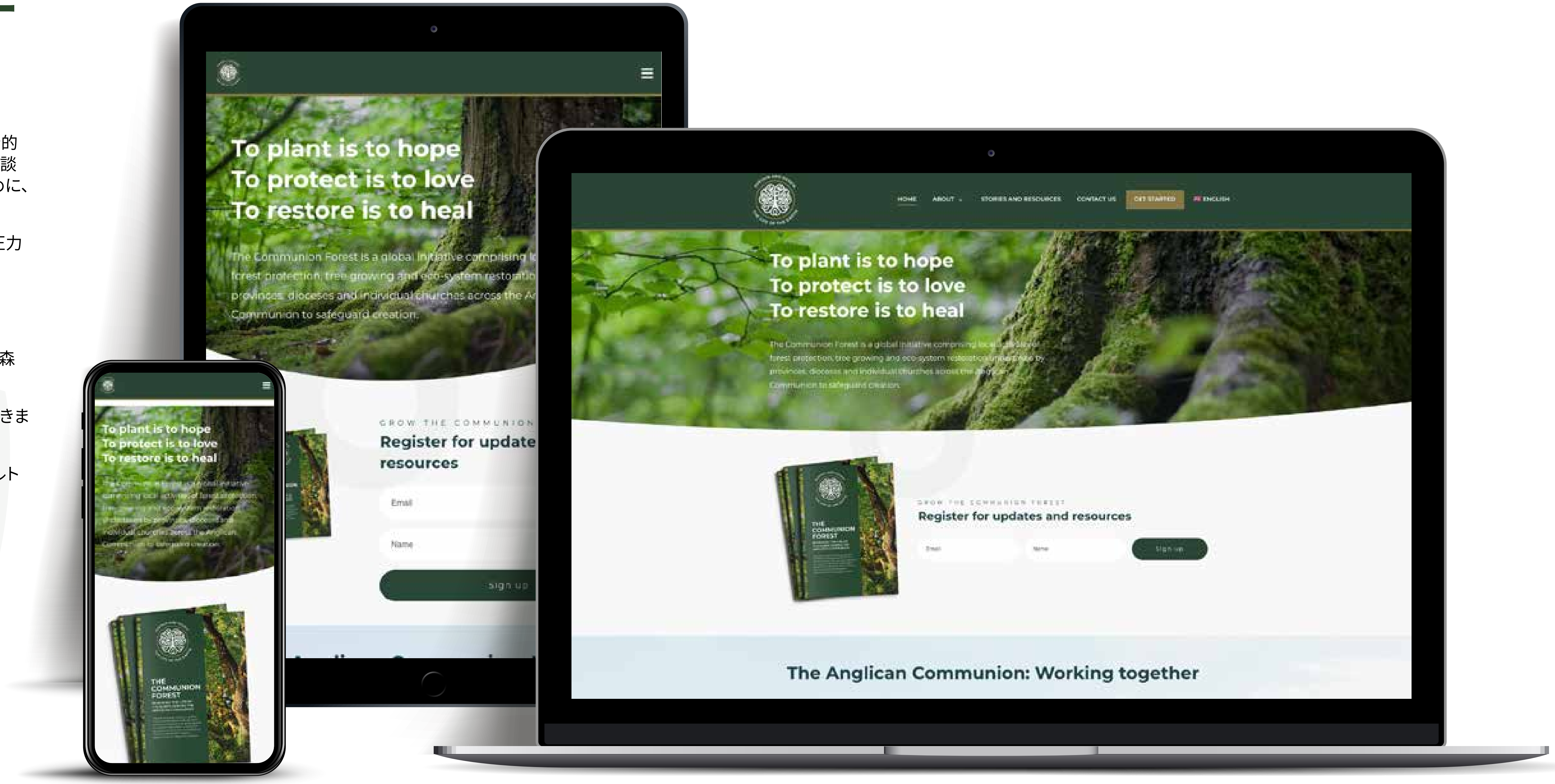
共生の森は、一元的な資金調達や管理、外部からの圧力を受けて実施するプロジェクトではありません。

担当チームへのお問い合わせはこちらまで：
communion.forest@aco.org

より詳細な情報は、共生の森ウェブサイト及び共生の森の資料に掲載されています。

今後10年間のランベス共生の森の活動を紹介していきますので、ぜひオンラインでご参加ください。

教材は、聖公会の4つの公用語であるスペイン語、ポルトガル語、フランス語、英語で提供されています。



参考資料

専門機関が提供する多くの優れた資料があり、意思決定や計画を立てるのに役立ちます。

トリリオン・ツリープロジェクトの評価ツール：森林保護や再生、植林を考える上で非常に有用な出発点となります。このツールは、優れた森林再生とは何かについて明確で実用的なガイダンスを提供し、これらの指標と照らしながら意図するプロジェクトを評価することができます。また、トリリオン・ツリーでは、地域的な取り組みがいかに世界的な運動に発展していくかについての洞察も得ることができます。

Interfaith Rainforest Initiative (IRI、異宗教間熱帯雨林構想) と Faiths for Forests (ファイス・フォー・フォレスト)では、熱帯雨林の保護の重要性と、そのための信仰指導者の役割についての情報を提供しています。IRIには、信仰に関するツールキットやリソースガイドなど、多くの有用なリソースがあります。

IRIはまた、宗教指導者や信仰共同体のために「国連生態系回復の10年」の期間中に使用する、森林再生に関する非常に有用な入門書を発行しています。

国際自然保護連合 (IUCN) は、「変化をもたらす者として、生産的で健康な空間に生態系を戻すために必要なツールや知識、リソースを提供するため」に、生態系の回復に関する優れたコミュニティ組織化ツールキットを作成しました。これは農地や森林、淡水、草原、低木林、サバンナ、山、海、海岸、都市部などを対象にしています。

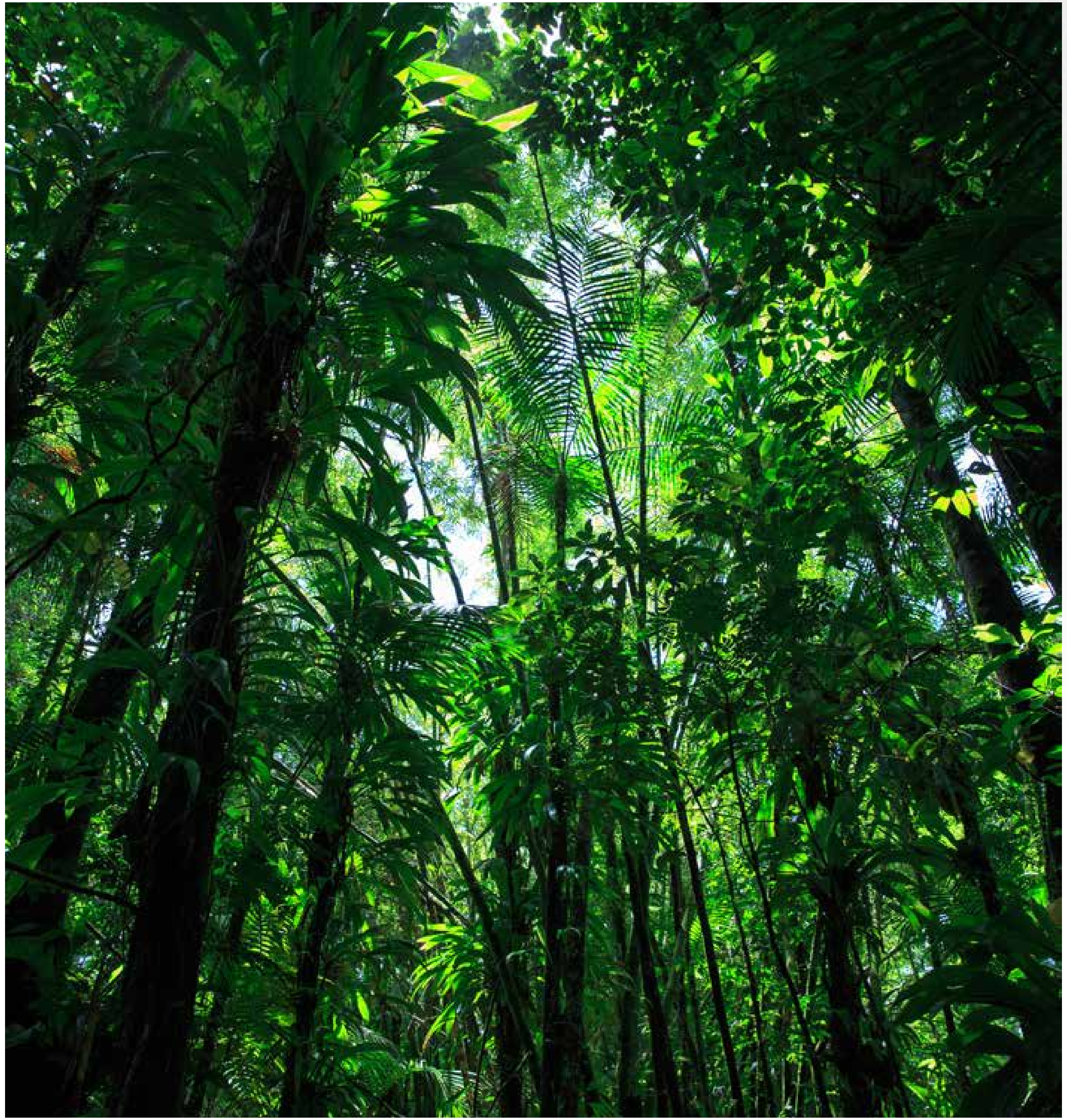
国際林業研究センター(CIFOR)による、植林プロジェクトを始めるための短かめの手引き「植林を成功させるための原則」は、どのような取り組みにも対応できる確かな基礎を提供します。「適切な場所に適切な木を、適切な目的のために」という、あらゆる活動の根幹をなす基本的な考え方を解説しています。CIFORのウェブサイトでより詳細な情報を提供しています。CIFORと提携しているGlobal Landscapes Forum (国際ランドスケープフォーラム)は、持続可能な景観づくりに関する世界最大の知見を集約したプラットフォームです。

また、共生の森のウェブサイトでは、聖公会の様々な事例をご紹介しています。

共生の森構想は、聖公会各地の主教や、聖公会環境ネットワーク、アングリカン・アライアンスからなるワーキンググループによって策定されました。

ANGLICAN COMMUNION ENVIRONMENTAL NETWORK

ANGLICAN ALLIANCE
Development · Relief · Advocacy



地球上の生命を維持
し、再生させる

担当チームへのお問い合わせはこちらまで：
communion.forest@aco.org
communionforest.org

LAMBETH
CONFERENCE

www.lambethconference.org
info@lambethconference.org

より詳しい内容は
www.facebook.com/LambethConference
www.twitter.com/LambethConf
#LambethConf

ANGLICAN
COMMUNION
IN OVER 165 COUNTRIES

www.anglicancommunion.org
www.facebook.com/theanglicancommunion
@AnglicanWorld

FSC
www.fsc.org
MIX
Paper | Supporting responsible forestry
FSC® C005143

JAPANESE